

## 愛しい君へ

小松原 剛

君の気を惹こうと四苦八苦ようやく君を手に入れた

君と初めてのドライブ地図も置いてない車

道に迷い交番で警官に道を聞いてくれたね

君と初めて行く草津温泉一泊二日旅行

子供の様にはしゃいだ温泉楽しかったね

君とあれから共に生きて十四年の歳月が流れた

僕の両親が死んだ時も君は寄り添ってくれた

君を傷つけた事もあつた心からごめんね

愛しい君へ

僕が土に帰るまで一緒に過ごそう

そして天国でも一緒だよ



関 春治



須永文江

## 峰

田野井孝夫

峰を下り また峰を上る  
夏の日射しは容赦なく  
我々の頭上に照り続ける  
一言も喋べらず  
ましてや、滴る汗すら拭わず  
しゃにむに水分を補給する  
ただひたすらに俯き加減になりながら  
さらに歩を稼ぐ  
単に山が好きというだけで  
苦勞しながらも  
その喜びを嗜む

## 愛の中

植田麻希

一人じゃないよ 大丈夫

いつだって君は

この世界から愛されている

泣きたくなった時

怒りに ふるえる時

嬉しくて喜びの中にいる時 思いだして

この世界はいつだって

君を愛しているんだってことを

君は生きている いまここに存在している

それがこの世界に愛されている証

だから その命 どうにか大事にしてね

君はいつも 無限の愛の中にいる



戸田みどり



小林弥栄子

## 君の色

そら

青木純

君は何色？

ぼくは何色？

君は虹色

ぼくは白色

なんでか？

ぼくはきみの色を映すから

君は虹

ぼくは雲

二人でいつも空の上

ずっと ずっと

「生きる」 ひろせひろし

どうせ生きるなら

清く

正しく

美しく

生きようではないか



江本 進



大竹三千代

## これからの私

似内千春

主人に死なれて、早百ヶ日

酒乱プラス女と忙しく過ごした貴方

我が子どもを守るだけで精一杯の私

他人様に可愛がつてもらったが故に人間として

まともに成長した子

やまない雨なんかないんだから・・・

必ず晴れる日が来るから・・・

加賀の千代女と云われてた利口なお婆様に

云われた言葉

「千春さん貴方の子供さんは男の子

いつかきつとご主人の力が必要になるから」

これからの私は、子供と孫と嫁さんを、

しっかりと見ていく事です。

## 平等のきびしさ

河西 清人

私、思うのですけど・・・

自分自身をたなに上げて

特別扱いされている様では何も

見えてこない

そこで問われる事は

人間としての厳しさではないのかと

出来ない事は出来なくていい様な

気がします

もつともつと自分自身を

オープンに考えるべきであると

私は思います



齋藤義保





篠崎昌子

ごはん

ごはん好き星人

ぼくはごはんが好きだ

おかずは、肉がとくに好きだ

やさいは、きほんきらいだけど

やっぱり好きだ

でも、食べすぎたらふとる

やだなー



## 世界精心

横山源

生きるとは何か、それは人としての品性と人格を極めることである。

歴史とは何か、それは過去と現在の対話である。

ヘーゲルは歴史とは世界精心と言った。

我々はどこから来て、どこへ行くのか？

文明は自己の精心的超克により進歩する。

我々は進歩史観による歴史の終わりを目撃する。



石坂和明



嶋岡貞子

## 僕らの世界

Mr. Fuji

いつものように進む毎日

通り過ぎて行つた足音が耳を霞んでいくよ

冷え切つた心を温めるような

そんな当然のような偶然のような

明日どうなるかなんて誰も知らなくて

あるのは確かな「今」だけだよ

この時をこの瞬間を叫ぶしかなくて

傷を舐め合うのとは違う

確かな「ぬくもり」があつたよ

## あれほどに

大崎暁世

一年前、一分一秒でも多く

自分の時間が欲しかった

ただ何もしない日、ひたすら眠る日が欲しかった  
今、あれほどまでに欲しかった時間が

こんなにもある。

なのに、あの忙しかった日々、自分が恋しい

「どうしてそんなに頑張るの？」

今になり、その言葉の意味がわかる

神様がくれた長い長い休憩時間

今はまだ昔に恋焦がれている自分

一年後はどうか

いつか、なりたい自分に



前島悦子



秋山 暉

## 幻覚の正体

ダック山下

霊魂か物質か  
それとも電磁波なのか  
幾度と襲つて来る  
不可思議な幻覚  
壁を擦り抜け  
宙を舞い  
目を閉じたまま  
テレビを視聴し  
階下の住人と  
テレパシーで会話する  
その正体を未だ嘗て  
掴んだ事は無い

肯定文 桑田秀行

誰かを嫌いになり  
誰かを好きになる  
誰かが死に  
誰かが生まれる  
誰かが不幸になり  
誰かが幸せになる  
誰かが負け  
誰かが勝つ  
誰かが泣き  
誰かが笑う  
誰かが失敗し  
誰かが成功する



志賀リウ子



久保田美佐子

## 刻

竜鳳

あなたは刻の事答えられますか？

十二支でしよ

他は十二使徒

他は

十二であきた(数えるの)

他は

十三はあのお方が亡くなられているので

運が悪く止めた

他は

<sup>120°</sup>あるから

他は

地球は24時間回るからその半分にした

他は

私の知恵ではわかりません

だからお前はバカなんだ

なぜ「父と母は十二時間中愛した」

と答えない？

え？おい？わかったか！！

ハイッ！！

## 赤いバラの花

香味

風香る五月の朝、街を歩いていると

赤いバラの花が沢山咲き誇り、

行きかう人を見ているかのようだ。

春も終りになり初夏の臭いが立ち込め

始める。

そんな日曜の朝、私は一人コーヒーを

飲みながら音楽を聞く。

人々の平穏な街並みは何とすばらしい事か。

人を愛し、花を愛し、音楽を愛し、のどかな

時を愛す。

その心が大切だと思う。



茅野清子





組谷敬子

## 息子ふんぽん… しいちゃん

十年前のあの出来事をきっかけに  
生き方が変わった

昨年息子を産み  
また生き方が変わった

息子を育てていく中で親のありがたみを知り  
感謝すると同時に、あの頃わがままに  
生きていた自分を恥じ

あの頃の自分に怒りが込み上げてきた

そんな事言っても過去は変えられない  
これからをどう生きるか

息子を育てているようで  
息子に育てられているんだなあ…  
息子に気付きをもたらしているんだなあ…

親として  
人として

息子とともに生きていこう

梅雨

ミーちゃん

雨がざあざあ

今年の梅雨は

でんでん虫は

陰にいるかな



大神田 忠



川合初男

## 優

ヴァア

優、親愛なる優

貴方の山よりも高く海よりも深い愛

その親愛なる愛で

ひ弱な僕を包んで欲しい

優、親愛なる優

貴方の山よりも高く海よりも深い優しさ

その親愛なる優しさで

ひ弱な僕を包んで欲しい

優、親愛なる優

貴方の山よりも高き海よりも深い厳しさ

その親愛なる厳しさで

ひ弱な僕を包んで欲しい

優、親愛なる優

貴方の山よりも高く海よりも深い悲しさ

その親愛なる悲しさを

ひ弱な僕が全部包んであげる

## 腕時計

更紗

時を刻む 銀色の腕時計  
失くしたと思っていた

過去の一部だったと今日気づいた  
数年前 いつの間にか、持ち主と

同じように止まっていた  
寂しくて、心に穴が開いたように感じた  
何よりも私の傍にあつたのに暫く気づけなかった  
今は淡い光に導かれて 新たな時を刻む  
あのとときの夢は もう掴めないけれど  
いつの日か 違う夢をみつけれられたなら

また夢に向かう日々を刻もう  
人生を歩む 時を刻もう



西村陸三



谷田百合子

## 「とまとの家」の。パ。パさんに贈る

増田寿昭

僕らが、「とまとの家」に集えるのは、  
パ。パさんが、元気で働いているから。  
僕らが、「とまとの家」で、遊べるのは、  
パ。パさんが、陰で協力してくれるから。  
「とまとの家」のママさんが、がんばれるのは、  
パ。パさんが、いつも健康だから。  
「とまとの家」は、今日も賑やか。  
誰も、パ。パさんのことを、ほめなくても、  
必ず、神様が、パ。パさんを祝福している。  
どうか、パ。パさん、いつ、いつまでも、お元気で。

故郷 個人の思い出 鈴木三郎

ふと思い出す

今は亡き祖母 祖父 叔父のことを

幼き未熟な自分を思い

大切に思ってくれた

あの日々のことを

皆が集まり

賑やかであった

故郷はもうない

その時を考えると齒がゆく思う

成すこともできない自分の身の上を



松本慶子



久保初美

父

よっちゃん

父は いつも僕を支えてくれた

そんな父は もういない

父は 僕に夢や希望を与えてくれた

父が生きている時は幸せだった



個性

菊岡正文

障害者

個性を伸ばすには

ほめる事



田中ノブ



大沼美穂

## 竹

吉田道男

真つ直ぐに天に向かって伸びる竹  
足元しっかりと しなやかな姿

自分も 竹のような生き方が  
出来たらいいなあと  
思いながら竹林を歩く

もう一度振り返り竹林に感謝

## 挽回

鶴田英規

どうにもならない壁に またぶつかる  
悔しくて 悔しくて 自分を責めて  
後悔して くよくよする

しかし 人は誰しも  
人生の壁にぶち当たり生き詰まる  
つまずいたら  
また何度でもやり直せばいい

僕は 動作中に 思わずつぶやいた  
挽回だ！  
その瞬間 真っ赤な目に 涙が溢れた

後悔 不安 引っかかり等  
あつてもなくても どちらでもよい  
とにかく粘って 今に生きていくしかない

英規の全ては 今 ここ目の前にある  
さあ 前へ進もう  
必ず超えていける 心に信じて



本多ちかこ



市川善朗

青

福田淳子

色を塗る

青がいい

大空のような スカイブルー

大地をけつて 手をのぼす

私は何かをつかんだ

おてんと様の何かを…

教訓

サンド相模

去る者は追わず

来るものは拒まず

戻ってくる者は拒む



鈴木良幸



早馬邦昭

## チューリップ

原田裕輔

いろいろな色の花

みんな いろいろな色に咲いている

僕は赤色に咲きたいなあ

赤に決まってる

咲いてみると出来そこない

花ピラ曲がつて 花ピラしおれて

でも 真っ赤なチューリップ

凜としてよう

みんなの仲間だと

僕なりに咲いて 散っても

いろいろのチューリップの一つなのだ



## ジャズする心 PART2 小ひなた

ノートパソコン

気まぐれに開いたら

雨の日 ジャズの世界が広がった  
薬なんてあることも忘れ

ボサノバのリズム

ピアノの音色

シナモンティー

長時間効く薬だよ

天使がささやく

ちよつと

みんなと違い過ぎる  
ちよつとだけ 早く生まれた私だから

数字はいらない部屋にいるよ

考えなくてもいらない世界にいる

あなたに効く薬 さがせる名人が

ここにいるから大丈夫

いつでも ノックして下さい

あなたがそこにいるわけを

知っているのは本当はあなた

この部屋であなたは

気づくでしょう



南 祐子



# 心の病

ヒストリア

心の病みをさまようと 生きることが

耐え難くなる時がある

引きこもつても そこに救いはなかった

耐え難いゆえ この世から

のがれる者もたくさんいた

心を病むと心の中は傷だらけになるのだろう

目に見えないからいいが

薬漬けも副作用も見えない

鎖 のように私の自由を奪った

差別も入院も可能性の道を塞ぐように

私の希望を奪った

苦しさを分かたて欲しいなんて言わない

絶対に分からないから

でも あなたには分からないでいてほしい

分かるには経験するしかないから



光 瀧

## パン屋と肉屋

身深 薫

パン屋や肉屋を見つけるとテンションが上がる。  
パン屋も肉もスーパーでほとんどかっているけれど、  
活気のある肉屋やおしゃれなパン屋を見ると  
そこからその町の暮らし感や生活感がにじみ出て  
町をつくっているのが実感でき、何だかニヤニヤ  
してしまう。

スーパーで買い物慣れをしている自分にはちよつと  
敷居が高いけれど、今度はそんな店で

カレーパンを買ったり

「ささ身も本お願いします」などと

言ってみたいと思う



河原公治



佐々木理絵

# 「ワニツの花その」

ゆち

どうして

いま

私たちのココロは

泣いているの？

怯えたまま

動き出そうと

なんで皆んなうながすの

ありのまま

そう助言したのに

ありのままじゃ

ダメとあなたは

今日も教える

動けない今を

許す優しさにふれたい